

進木

進木【すぎ】・・・『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



2024年9月 発行

「ご挨拶」の大切さを考えてみました。

2学期が始まりました。まだまだ長かった夏休みのリズムが抜けきらず、心も身体も不安定になっている生徒がみられます。時間に促って生活リズムを戻すこと、身だしなみの乱れを直すことを意識して行動してください。2学期は大きな学校行事が2つ実施されます。

「文化祭」・「体育祭」を行う目的や、クラスや学年での目標が達成できるよう一人ひとりの心がけ（発言・行動）が大切です。

以下に「行事の目的」（文科省が発行する「学習指導要領」より）と、生徒のみなさんへ「先生たちの願い」をまとめました。



「行事の目的」

●文化的行事（いわゆる文化祭ですね）

文化的行事を通して、

- ①日頃の学習活動の成果を発表し、その取り組みを通して成長すること。
- ②文化や芸術に親しむこと。



●健康安全・体育的行事（いわゆる体育祭ですね）

体育的行事を通して、

- ①運動に親しんで取り組み、体力を向上させること、健康の維持・増進をはかること。
- ②事件・事故または災害等から身を守ることができる行動を身につけること。
- ③規律ある集団行動を身につけること。
- ④与えられた役割を果たす責任感や連帯感を身につけること。



「先生たちの願い」

- ・自分に与えられた仕事に対して責任感をもってやり切る力を伸ばしてほしい。【ジリツ】
- ・他者とともに素晴らしい作品をつくり上げていくために必要なコミュニケーション能力（発言や行動）を伸ばし、クラスや学年の絆を深めてほしい。団結力・集団力を伸ばしてほしい。【共生】
- ・最後まであきらめず、向上心をもって取り組んで大きく成長してほしい。【チャレンジ】

毎日、みなさんと正門で、廊下で、教室でグラウンドで会ったら「挨拶」をしています。自分なりに大切にしていきたいという思いで行動していることですが、改めて、「挨拶」の大切さについて考えてみました。

【語源（ごげん）】

「挨」 もともと「打つ」「押す」から、「押し開く」「互いに心を開いて近づく」という意味をもつ。

「拶」 もともと「近づく」「進む」から、「迫る」「すり寄る」という意味をもつ。

よって、2つの漢字が合わさった「挨拶」とは本来、「押して進む」「押して近づく」「互いに心を開いて近づく」という意味の熟語だということになります。それが禅宗（仏教の宗派の1つ）のお坊さんたちの間で用いられるようになりました。相手がどれだけ「禅」（宗派の考え）の知識をもっているかさぐりをいれながら「押して近づいて」の問答をするということだそうです。その意味からさらに転じて、人間同士が出会ったときに交わす受け答えという意味で使われるようになりました。

このような経緯で成立した熟語であることから「挨」も「拶」もほかの語句としてほとんど用いられることがない特殊な字であると言えます。

また、最近「ご挨拶の法則」という書籍を読みました。この本では、「『ご挨拶』は人生を変えてくれます。」と述べています。また、「『ご挨拶』から相手について、たくさんの方がわかる」と述べています。

- ・人を大切にする人が
- ・人間関係を大切にする人が
- ・性格 ・社交性 ・エネルギー ・体調 ・教養 など

さらには、「世の中で成功者と呼ばれている人たちは『ご挨拶』から生まれる出会いをととても大切にしている。」と述べています。

この書籍からたくさんの方のことを学ぶことができました。改めて「ご挨拶」の大切さを考えさせられるとともに、これからの自分の行動についてチャレンジしたいという思いが高まりました。

社会では、誰かと一緒に物事を成すこと、誰かと関わりをもつことが必ず必要となります。他者と繋がるコミュニケーションがたいへん重要な能力となり、その第一歩となるコミュニケーションが「ご挨拶」です。将来のために、今から意識をして行動すること・発言することにチャレンジしてみてください。もちろん、自分のペースでかまいません。その一歩が大きな成長です。



ひき続き

大切にしてほしい「自分に関わる3つのこと」を心がけてください。

- ・自分の「命（いのち）」を大切にする
- ・自分の「人権（じんけん）」を大切にする
- ・自分の「周り（まわり）の人」を大切にする

登下校時や近隣の商業施設での迷惑行為は絶対にやめてください。
自分の行動・発言に責任を持ちましょう。する前に一度立ち止まって考える！